

日本オペラ振興会会報

表紙photo:
藤原歌劇団公演
「ラ・トラヴィアータ」
日本オペラ協会公演
「静と義経」
写真撮影：池上直哉

JOF

Japan Opera Foundation

NEWS



No. 32



G.プッチーニ

妖精ヴィツリ

2026年1月31日(土)・2月1日(日) 両日14:00

東京文化会館 大ホール

アンナ 砂川涼子／迫田美帆
ロベルト 澤崎一了／所谷直生
グリエルモ・ウルフ 岡 昭宏／清水良一
語り 豊嶋祐壹

合唱 藤原歌劇団合唱部
管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団

砂川 楽曲の世界で、アントニオ・カルラーリの「妖精ヴィツリ」を演じる。最初の方は無邪気で可愛らしく、若々しい女の子としてはしゃいでいるシーンもありますが、闇を抱えていたりする部分もあると思います。その差をはっきり出すようにというようなお話を演出家の岩田さんからいただきました。後半は音楽もドラマチックになりますが、最初の登場シーンも残しながら、ただ怨念だけではなく、愛があるゆえのところがどこかに出てきますが、そういうアンナを演じることはできたらなと思います。

迫田 涼子さんもおっしゃったように、後半は特に、怨念とか引っ張ら

藤原歌劇団公演

対談

2026年1月31日・2月1日の東京公演にむけて、「妖精ヴィツリ」でアンナ役を演じる砂川さんと迫田さん、「カヴァレリア・ルスティカーナ」でサントウッソ役を演じる桜井さんと小林さんに公演の意気込みや魅力を語っていただきました。

砂川涼子

アンナ  RYOKO SUNAKAWA
SAKODA MIHO

迫田美帆

INTERVIEW

——このオペラはプッチーニが初めて作曲した作品ですが、何か特徴はありますか？

砂川 基本的にプッチーニが描いた女性像は、どのオペラにも共通することがありますよね。オペラでいうと最初の登場シーンに自己紹介のアリア、この人はこういう人ですというのを示す曲があります。「ラ・ボエーム」もありますよね。今回のアンナの音楽は高音が少なく、どちらかというと低音が多く、オクターブの跳躍が何箇所にも出てきます。そこには若さという何かがあるのかもしれませんね。そんなに派手ではありませんが、音の作りはとても難しいなと感じます。

——普段、どのように役作りをしていますか？

砂川 歌手によってそれぞれだと思いまます。私は稽古の前に勉強をして準備はしていきますが、誰かが演じているのを研究したり、真似をしたりといふことは一切しません。どのように演じよう、動こうとかは考えずに、現場で指揮者と演出家とのやりとりの中でそこに向かって自分の引き出しの中から試していますね。



砂川涼子

れるというよりは、アンナが持つてゐる元々の純粹さやまっすぐさ、それゆえのさまざまな怒り、成し得なかつたことがヴィツリになるところに繋がっていくと思うので、軸を失わないように、一貫したキャラクターで演じられたならなと思います。

迫田 そうですね。和声進行やメロディックな部分、美しい旋律を使うという面では、その後の作品に繋がっていますが、最初の登場シーンも残しながら、ただ怨念だけではなく、愛があるゆえのところがどこかに出てきますが、そういうアンナを演じることはできたらなと思います。

砂川 外付けのものは嘘になってしまふので、外枠で固めるというのは私もしないようにしています。本当に良い作品は、音楽をきちんと読んで、自分の中に落とし込んだだけで自分の中から感情が生まれてきますよね。そこを一緒に刺激を受けながら作り上げていく



迫田美帆

[対談] 砂川涼子 × 迫田美帆

P.マスカーニ

カヴァレリア・ルスティカーナ

2026年1月31日(土)・2月1日(日) 両日14:00

東京文化会館 大ホール

サントウツツア 桜井万祐子／小林厚子
トゥリッドウ 笛田博昭／藤田卓也
ルチア 牧野真由美／米谷朋子
アルフィオ 井出壮志朗／森口賢二
ローラ 丹吳由利子／高橋未来子

合唱 藤原歌劇団合唱部
管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団



小林 どこも見どころで選べません……今回、私は恋敵である自分が、間奏曲が一番ウルつときますね。女性としてもさまざまな意味で叶わなかつた夢がそのシーンで叶う瞬間だと思います。

——このオペラの魅力、見どころを教えてください

桜井 自分が歌うところではないですが、間奏曲が一番ウルつときますね。女性としてもさまざまな意味で叶わなかつた夢がそのシーンで叶う瞬間だと思います。

桜井 そうですね。両日観ていただくと、インスピレーションが違うと思います。それが私にとって喜びだと感じています。

小林 メツゾ・ソプラノ、ソプラノではなく、人が変われば全く違う。同じ人が演じても時が違えば全く違う作品ができる。そこがまた面白いと思うので、ぜひ両日お越しいただきたいですね。

桜井 メツゾ・ソプラノ、ソプラノではなく、人が変われば全く違う。同じ人が演じても時が違えば全く違う作品ができる。そこがまた面白いと思うので、ぜひ両日お越しいただきたいですね。

小林 このサントウツツアという役は楽譜を見るとソプラノと記載されており、初演の方もソプラノでしたが、私はこのお話をいただくまで楽譜も持っていないなかつたですし、歌手人生の中で演じない役だと思っていましたので遠くから眺めていました。どの役でも思う事

——サントウツツアを演じる想いを教えてください。

小林 このサントウツツアという役は楽譜を見るとソプラノと記載されており、初演の方もソプラノでしたが、私はこのお話をいただくまで楽譜も持っていないなかつたですし、歌手人生の中で演じない役だと思っていましたので遠くから眺めていました。どの役でも思う事

ですが、私の声でできるところを見つけられたらなと思います。

桜井 イタリアでもソプラノ・ドラマティコのような重たい声の人でもこの役を歌っているイメージでしたが、厚子さんの演奏を聴いて、サントウツツアがソプラノとスコアに記載されているのが理解できるなと思いました。

若い役、そしてとても可愛い、優しい。どうしてもトゥリッドウを戻したいという思い、これを私は一緒にお稽古させていただいて、多くの発見があり楽しいです。

小林 今回、ブッチー二作曲の「妖精ヴィツリ」とセットで上演されるのは本当に特別ですよね。このダブルビルは40年ぶりだそうですが、実は私、その時の藤原歌劇団公演を観てているのです。まだ子どもでしたが、両親に連れて行つてもらいまして、東敦子先生がアンナ(妖精ヴィツリ)をお歌いになられて、大感激したことをよく覚えています。

——来てくださるお客様にメッセージをお願いします。

ローラの言葉にハッとさせられます。1時間ほどの作品ですが、音楽とドラマがぎゅっと濃密に詰まつておさまがどこか共感していただけたら演じる我々は幸せです。

桜井万祐子

サントウツツア

MAYUKO SAKURAI
ATSUKO KOBAYASHI

小林厚子

[インタビュー] 伊藤 晴&笛田博昭

2026年2月7日(土)14:00

愛知県芸術劇場 大ホール

「妖精ヴィツリ」

アンナ 伊藤 晴
ロベルト 澤崎一了
グリエルモ・ウルフ 岡 昭宏
語り 豊嶋祐壹

合唱
管弦楽

伊藤 晴
澤崎一了
岡 昭宏
豊嶋祐壹

「カヴァレリア・ルスティカーナ」

サントウツア 桜井万祐子
トゥリッドウ 笛田博昭
ルチア 牧野真由美
アルフィオ 井出壮志朗
ローラ 丹吳由利子

藤原歌劇団合唱部
セントラル愛知交響楽団

藤原歌劇団公演

愛知公演

INTERVIEW

2026年2月7日愛知公演に出演するに「妖精
ヴィツリ」でアンナ役を演じる伊藤さん、「カ
ヴァレリア・ルスティカーナ」でトゥリッ
ドウ役を演じる笛田さんに公演に対する思い
や魅力について伺いました。

G. プッチーニ

妖精ヴィツリ 伊藤 晴 アンナ HARE ITO

——初めてこのオペラを聴いたときの印象

まず、オーケストラと合唱のドラマティックな音楽に魅了されました。特にオペラのラストで、妖精たちがアンナの恋人口ベルトを取り囲んで「回れ！踊れ！」と叫ぶシーンの爆発的な激しい音楽が印象的です。

「妖精ヴィツリ」はプッチーニの最初のオペラ作品ですが、若いプッチーニのダイレクトな音楽表現を感じられます。またアンナのキャラクターに、後のミミやリューにも繋がる部分を見出すことが出来て興味深いです。



——地元でオペラ公演に出演する想い

藤原歌劇団公演として愛知県芸術劇場で歌わせていただくのは、2017年「カルメン」ミカエラ役、2021年「ラ・ボエーム」ミミ役に続いて3回目となります。毎度縁の地で歌わせていただく喜び、有り難さを感じております。

特に「妖精ヴィツリ」のようなドラマティックで上演機会の少ない作品の魅力を、地元の皆様にお伝えすべく、稽古に奮闘しております。

是非、愛知で心震えるオペラ体験を味わいに、劇場へいらしてください！



P.マスカーニ

カヴァレリア・ルスティカーナ 笛田博昭 トゥリッドウ HIROAKI FUEDA

——笛田さんから見る、トゥリッドウという役の魅力

役に対してはそんなに魅力は感じませんね(笑)ただ、オペラとしてはとても分かりやすくヴェリズモオペラの代表的な作品なので、作品としては十分に魅力があると思います！

——ゆかりの地、愛知でオペラ公演に出演する想い

名古屋、愛知は私にとって第二の故郷です。やはり特別な想いがありますね。自分を育ってくれた地でもありますし、オペラ歌手としての土台を作ってくれた場所です。応援してくれている方々のために精一杯歌います。

LE VILLI / CAVALLERIA RUSTICANA



日本オペラ協会公演

新作初演

オペラ歌手・ 三浦環の「声」を求めて—

1884(明治17)年東京に生まれ、東京音楽学校で声楽を学ぶ。帝国劇場などで舞台に立ったのち、1914(大正3)年に夫の三浦政太郎の留学に伴い渡欧。イギリスでブッチャーニ作曲「蝶々夫人」のタイトルロールを歌い、大きな成功を収めた。翌年にはアメリカへ渡り、以降は各地で国際的な演奏活動を行った。代表役である「蝶々夫人」の出演回数は実に2,000回に及び、この記録はいまなお破られていない。可憐で清澄な声と、日本舞踊を基礎とした美しい所作は世界中の聴衆を魅了し、ブッチャーニからも「あなたは世界にたった一人の、最も理想的な蝶々さんです」と絶賛された。

日本人初の本格的な国際的オペラ歌手として、その名は今も広く知られている。

う強い決意の表れだった。

離婚した後、とわの家に身を寄せていた環の元に再び政太郎が現れ、かつて果たせなかつた想いを告げる。熊太郎に会い「僕は音楽家の環さんを尊敬しています。芸術家は社会の華です」と、結婚を申し込むのだった。環と政太郎はドリームへの留学の夢を語り合い、政太郎は資金を得るためシンガポールへと旅立つ。

日本に残つた環の前に、野心に満ちた新聞記者・安井が現れる。自らが環と政太郎を結びつけたのだと言い、環に対しても不穏な圧力をかけてくる。舞台に立ち続ける環は、名声の陰で精神的に追い詰められていく。とわの機転

校則では結婚は禁じられていた。既婚であることを隠し、環は音楽学校で、は、昭憲皇太后の御前演奏、奏楽堂での歌劇オルフェオイストの百合姫（エウリディーゼ）役など才能を發揮する。一方、幼なじみの政太郎は密かに環への想いをつのらせていたが、内祝言を上げたことを知り、愕然とする。

そんな中、夫の転勤が決まるが、環は同伴ではなく離婚を選ぶ。それは、女性でありながら歌で生きていくという強い決意の表れだった。

離婚した後、とわの家に身を寄せていた環の元に再び政太郎が現れ、かつて果たせなかった想いを告げる。熊太郎に会い「僕は音楽家の環さんを尊敬しています。芸術家は社会の華です」と、結婚を申し込むのだった。環と政太郎はドイツへの留学の夢を語り合い、政太郎は資金を得るためシンガポールへと旅立つ。日本に残った環の前に、野心に満ちた新聞記者・安井が現れる。自らが環と政太郎を結びつけたのだと言い、環に対し不穏な圧力をかけてくる。舞台に立ち続ける環は、名声の陰で精神的に追い詰められていく。とわの機転

「そうになる環を『今は生きることが大切』と、政太郎が諭し救い出す。環と政太郎はアメリカへと渡り、プリマ・ドンナとして環は名声を高めていく。

その陰で、政太郎は「プリマ・ドンナの鞄持ち」と呼ばれるようになつていた。日本に戻り緑茶の研究に専念することを決意した政太郎は環の元を離れていく。アメリカに残り歌い続けることになつた環は、政太郎の研究が認められたときには、日本に戻つてお祝いしましよう、と約束する。

は、かつて安井という新聞記者から逃げて、日本から旅立つたが、いまだに追われている気がしてならないと不安を口にする。

旅芸人として各地を旅してきたお雪は、人づてに安井の行方を知っていた。環の心の曇りは消え、晴れやかな心持ちでマダム・バタフライの世界へ旅立つ。しかし、空襲警報が鳴り響き、上演

いる作曲家ジャコモ・プッチーニの姿があつた。彼は苦悶していた。日本に行つたこともなく、これまでの作品と同様、追い詰められる女を描いてしまつた。パリで上演されたいがために、原作を変えてしまつた。偽りの蝶々夫人を描いてしまつたのではないか、と――樂屋では、身支度を助けるお雪に環

第二幕

環は深い悲しみの中、病に臥すか
高木チカの言葉に導かれ、再び舞台へ
戻る。批評家の「三浦環はもう終わ
た」という声が聞こえる一方で、観客
たちは「もう一度、あの歌を」と願い、
時空を超えてブツチーニの幻が現れ
「蝶々夫人」だけが歌ではない」と励ます。
戦争が終わり、環は歩んできた歌の
道を振り返る。イギリス、アメリカ、
ブラジル、アルゼンチン……歌は環の
人生そのものだった。「戦争は終わっ
た。再び、世界へ、明日へ」——環は
声の一文字へ向かい、歩み始めるの
だった。

ラ歌手、軍歌は歌いません」と毅然とした態度を貫く。そして、アメリカ人との恋に敗れた女が自ら命を断つ、オペラ『蝶々夫人』の上演は戦争が終わるまで封印する決意を固める。疎開先の湖畔の村で、とわは病に倒れ、環は介護に明け暮れる。とわは、最期に「生まれる時に、私のおなかの中に置き忘れた声を返そう」と語り、静かに旅立つ。

く。「マサタロウシス」——政太郎の急逝であつた。環は悲しみに打ちひしがれながらも、祈りを歌に変えることで、彼の魂と共に生きていく道を選ぶ。

数年後。政太郎の墓前に立つ環に世間は「死者には歌は届かない」と冷笑するが、環は彼に語りかけ、歌い続ける。時代は戦争の只中へ。環は「私はオペ

る。そして、オペラ『蝶々夫人』を歌う時はいつも、作曲家であるあなたの歌を捧げているのだと、あなたは私の神なのだと語る。プッチーニは「私は弱い人間だ神ではない」と答え、環は困惑するが、互いに二人の間には歌があることに気づき、音楽で繋がる喜びを知るのだった。

はいつも、作曲家であるあなたへ歌を捧げているのだと、あなたは私の神なのだけ語る。ヅツチーは「私は弱い人間だ、神ではない」と答え、環は困惑するが、互いに二人の間には歌があることに気づき、音楽で繋がる喜びを知るのだった。

ある日、環の元に一通の電報が届く。「マサタロウシス」——政太郎の急逝であった。環は悲しみに打ちひしがれながらも、祈りを歌に変えることで、彼の魂と共に生きていく道を選ぶ。

数年後。政太郎の墓前に立つ環に世間は「死者には歌は届かない」と冷笑するが、環は彼に語りかけ、歌い続ける。時代は戦争の只中へ。環は「私はオペラ歌手、軍歌は歌いません」と毅然とした態度を貫く。そして、アメリカ人と日本の恋に敗れた女が自ら命を断つ、オペラ『蝶々夫人』の上演は戦争が終わるまで封印する決意を固める。疎開先の湖畔の村で、とわは病に倒れ、環は介護に明け暮れる。とわは、最期に「生まれる時に、私のおなかの中に置き忘れた声を返そう」と語り、静かに旅立つ。

環は深い悲しみの中、病に臥すが、高木チカの言葉に導かれ、再び舞台へ戻る。批評家の「三浦環はもう終わつた」という声が聞こえる一方で、観客たちは「もう一度、あの歌を」と願い、人生そのものだった。「戦争は終わつた。再び、世界へ、明日へ」——環は声の一文字へ向かい、歩み始めるのだった。

SPECIAL TALK

日本オペラ協会公演 奇跡のプリマ・ドンナ -オペラ歌手・三浦環の「声」を求めて-

渡辺 康

Yasushi Watanabe

佐藤美枝子

Mieko Sato

相樂和子

Kazuko Sagara

海道弘昭

Hiroaki Kaido

—歴史の中の人物を演じること

佐藤 あの時代に、海外に行くのは本当に命がけですよね。船で一ヶ月以上かけて渡るなんて途中で何が起ころかわからない時代ですよ。

海道 そうですね。ベルリンへ向かう船の上で、実は第一次世界大戦が始まっていたことを知らないなかつた、という話もありますよね。本人たちはただ「勉強のために行く」という気持ちだったはずなのに、結果として歴史の大きな流れの中に飛び込んでいきましたよね。

佐藤 政太郎が「ベルリンに行こう」と言い出したのが始まりですが、まさか環があれほど活躍するとは、誰も想像していなかつたと思いますよ。

渡辺 環さんは元々お母さんと二人で生活するために自ら仕事を持つこと、自分の歌で生計を立てることを考えていた。政太郎と共に強い意志を持つて海を渡つたんですね。

海道 そうだと思います。今でこそ総理大臣が女性の時代ですが、この明治の時代に女性が出て、我々がイタリアで見に行つた劇場で歌つていたという事実がすごいことですよね。しかも野口英世とアメリカと一緒に写っている写真が残つていて、山田耕作と同じ時代を生きていたり。そう考えると、本当に「歴史の教科書の中の人」ですね。

相樂 だからこそ、ただ役としてではなく、「その時代を生きた一人の人間」として向き合わなければいけない。そう思つと、自然と背筋が伸びますね。

—役作りとしての「場所」



海道 僕は、役作りのために「その場所を見る」こ

とをとても大事にしています。

山中湖に行ったときもそうでしたし、長崎で三浦環の銅像を見たときも、感覚が一気に変わりました。歌手は本番舞台上になると、真っ暗な空間で歌います。でも、頭の中に景色があるかどうかで、音色や呼吸が全然違ってきます。



渡辺 日本オペラ協会で初めて出演した「紅天女」の時は日本語歌唱に対する苦手意識があつたのですが、今では言語による歌いにくさを感じないようになりました。どんな言語でも基本的な発声は同じだと考えています。そして何より

—母国語でオペラを歌うということ

海道 写真を見るだけでも違いますが、実際にその場に行き、空気を感じるとより入つてくる。環や政太郎が「ここを見ていたんだな」と思うだけで、音楽の立ち上がりが変わる気がします。

渡辺 日本オペラ協会で初めて出演した「紅天女」の時は日本語歌唱に対する苦手意識があつたのですが、今では言語による歌いにくさを感じないようになりました。どんな言語でも基本的な発声は同じだと考えています。そして何より

藤原歌劇団・日本オペラ協会合同公演
NISSAY OPERA 2026

團 伊玖磨作曲

夕鶴 YUZURU

オペラ全1幕 ニュープロダクション(新制作)

2026年11月27日(金)・28日(土)・29日(日) 日生劇場



指揮:星出 豊



演出:栗國 淳

つう



伊藤 晴
(11/27&29)



芝野 遥香
(11/28)

与ひょう



澤崎 一了
(11/27&29)



松原 陸
(11/28)

運ず



江原 啓之
(11/27&29)



井出 壮志朗
(11/28)

惣ど



山田 大智
(11/27&29)



杉尾 真吾
(11/28)

管楽器:新日本フィルハーモニー交響楽団

[チケット発売日]2026年5月発売開始予定

[チケット料金]S席 16,000円 A席 12,000円 B席 9,000円 C席 6,000円 D席 4,000円

主催:公益財団法人日本オペラ振興会 共催:公益財団法人ニッセイ文化振興財団[日生劇場]

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズNo.89

水野修孝作曲

天守物語 TENSHU MONOGATARI

オペラ全2幕 ニュープロダクション(新制作)

2027年1月9日(土)・10日(日) 昭和女子大学人見記念講堂



指揮:園田 隆一郎



演出:中村 敬一

富姫



佐藤 美枝子
(1/9)



小林 厚子
(1/10)

図書之介



須藤 慎吾
(1/9)



村松 恒矢
(1/10)

亀姫



小林 沙羅
(1/9)



別府 美沙子 他
(1/10)

合唱:日本オペラ協会合唱団

管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団

[チケット発売日]2026年6月発売開始予定

[チケット料金]S席 18,000円 A席 15,000円 B席 8,000円 C席 3,000円

主催:公益財団法人日本オペラ振興会

SEASON LINEUP

藤原歌劇団公演

G.プッチーニ作曲

蝶々夫人 MADAMA BUTTERFLY

オペラ全3幕 新演出

2027年3月6日(土)・7日(日) 新宿文化センター 大ホール



指揮:柴田 真郁



演出:栗國 淳

蝶々夫人



砂川 涼子
(3/6)



迫田 美帆
(3/7)

ピンカートン



笛田 博昭
(3/6)



海道 弘昭
(3/7)

シャープレス



押川 浩士
(3/6)



岡 昭宏
(3/7)

他

合唱:藤原歌劇団合唱部

管楽器:東京フィルハーモニー交響楽団

[チケット発売日]2026年7月発売開始予定

[チケット料金]S席 18,000円 A席 15,000円 B席 12,000円 C席 8,000円 D席 3,000円

主催:公益財団法人日本オペラ振興会

JOFプレミアムシート
新規会員

募集中!

// お得で魅力いっぱいのJOF(日本オペラ振興会)鑑賞会員 //

特典
1

最優先でお席を確保いたします

特典
3

ゲネプロ(最終舞台稽古)・バックステージ見学へのご招待

※ゲネプロ見学は、お選びいただいた演目のみご観覧いただけます。
※バックステージ見学は、会場により実施しない場合もございます。

特典
2

有料プログラム引換券を進呈
※1部1,500円

特典
4

その他主催コンサートへご優待価格でのご案内 他

選べる!
(JOFプレミアムシート)
2026/27シーズン

藤原歌劇団・日本オペラ協会の公演がまとめてお申し込みいただける
(JOFプレミアムシート)2026/27シーズンの申し込みを開始しております!
全3演目を最大15%OFFでお得にご覧いただけます。
お得な(JOFプレミアムシート)をお見逃しなく!

どの会員様も数量とお申し込み期限に限りがございますので、お早めにお申し込みください。

詳細・お申し込みはこちらから➡



新入団・会員 紹介

藤原歌劇団

日本オペラ協会

正 = 正団員 準 = 準団員

正 = 正会員 準 = 準会員

* = 準団員・準会員より 推 = 推薦による

※アイコンのない団員・会員はオーディションによる



いしい ようこ
石井 揚子*



なかむら えりな
中村 英里奈



あいはら さとみ
相原 里美

藤原歌劇団

日本オペラ協会

正 = 正団員 準 = 準団員

正 = 正会員 準 = 準会員

* = 準団員・準会員より 推 = 推荐による

※アイコンのない団員・会員はオーディションによる



たかぎ かおり
高木 佳央理



かしき ともみ
樺木 伴実



ふじもと えみこ
藤本 恵美子



やまぐち え
山口 はる絵



やまだ ゆみ
山田 侑美



クニヤゼワ アナ斯塔シア
Kniazeva Anastasiia



いしい れい
石井 恋



かまや みれい
鎌谷 実芽*



さいとう ひさみ
佐藤 寿美



にしむら かおり
西村 香織



はなわ あすみ
塙 亜寿美



うえの のりこ
上野 敏



たかはし ともこ
高橋 朋子



しみず あゆか
清水 歩由果

2026年度オペラ歌手育成部募集

募集要項・詳細が決まり次第、公式webサイトに掲載いたします。



プロフェッショナルコース
～オペラの舞台で輝く人材を募集します～

修業年限

1年または2年

*実力にあったコースを受験可能

募集コース

●プロフェッショナルⅠコース

レチタティーヴォ・セッコに重きをおき、オペラ・アンサンブルを主体として、歌唱表現の土台作りと舞台表現を併せた更に高いステージへレベルアップを図ります。

●プロフェッショナルⅡコース

個々の成長と個性・資質を重視し、本舞台に向けてオペラ・アンサンブルとオペラ全曲の研修を行い、実質共にデビューとなる新人育成アンサンブル公演に出演し、オペラ歌手としての活動を開始していきます。

〈奨学金〉プロフェッショナルコース対象

入所試験時・進級試験時の成績優秀者には奨学金として育成部授業料の全額または半額に相当する額を授与します
※2025年度5名実績

アミーチコース

～楽しながら声楽とオペラを学べます～

修業年限

1年(次年度再受講可能)

半期コースもあり(4月～9月／10月～翌年3月の半年)

募集コース

●月曜日 夜コース 17:30-20:30

●水曜日 昼コース 10:00-13:00

●土曜日 昼コース 10:00-13:00

●日曜日 昼コース 10:00-13:00

コース内容

オペラアンサンブル(グループ授業)

*声楽個人レッスンはカリキュラムに含まれておらず、ご希望があれば登録制で指導経験豊富な所属歌手をご紹介します。

第44期新人育成オペラアンサンブル公演



「オルフェオ」



「秘密の結婚」

お問い合わせ先

公益財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部
〒215-0035 神奈川県川崎市麻生区黒川76-1 TEL 044-819-5505(平日10:00～17:00)

Schedule & Information

2026年1月～6月 外部出演マネージメント

2026年1月現在

JAN 1	1/3(土) 第68回ニューイヤーオペラコンサート 出演:伊藤 晴、笛田博昭 会場:NHKホール	FEB 2	2/22(日) 大阪交響楽団 第286回 定期演奏会 【オペラ・演奏会形式シリーズ Vol. 4 “耳なし芳一”】 出演:渡辺 康(芳一) 伊藤貴之(平家の亡靈・武士) 会場:ザ・シンフォニー ホール	MAY 5	5/23(土) 第500回定期公演マイスター・シリーズ 「第九」 出演:石田 淩 会場:石川県立音楽堂 コンサートホール
	1/23(金)・24(土) 仙台フィルハーモニー管弦楽団 第387回定期演奏会 出演:伊藤 晴 会場:日立システムズホール仙台 コンサートホール	MAR 3	3/5(木)・7(土)・8(日)・10(火)・12(木) 新国立劇場「ドン・ジョヴァンニ」 出演:田中大揮(騎士長) 会場:新国立劇場 オペラパレス	JUN 6	6/6(土) 群馬交響楽団×高崎芸術劇場 GTシンフォニック・コンサート vol.2 オペラ『トスカ』(セミ・ステージ形式) 出演:佐藤康子(トスカ) 上江隼人(スカルピア) 会場:高崎芸術劇場 大劇場
	1/24(土) ニューイヤーコンサート2026 出演:西本真子、澤崎一了 会場:東京文化会館 大ホール		3/7(土)・8(日) びわ湖ホール プロデュースオペラ 『トゥーランドット』全3幕 (イタリア語上演・日本語字幕付) 出演:谷 明美(トゥーランドット) 中井亮一(ポン) 会場:滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール		6/12(金) 名古屋フィルハーモニー交響楽団 第546回定期演奏会 「トスカ」 出演:佐藤康子(トスカ) 上江隼人(スカルピア) 会場:愛知県芸術劇場 コンサートホール
	1/25(日) 深川市文化交流ホールみ・らい 開館20周年記念コンサート み・らいNEW YEAR CONCERT 出演:大森智子、村上敏明 会場:深川市文化交流ホール み・らい		3/15(日) 藤沢市民オペラ『ランスへの旅』 (演奏会形式・イタリア語上演・日本語字幕付) 出演:光岡暁恵(コリンナ) 石田 淩(モデスティーナ) 山本康寛(騎士ベルフィオーレ) 伊藤貴之(シドニー卿) 小野寺 光(ドン・プロフォンド) 会場:藤沢市民会館 大ホール		6/13(土) 伊藤晴ソプラノリサイタル 出演:伊藤 晴 会場:宗次ホール
	1/30(金)・2/1(日) 【東海芸術劇場開館10周年記念事業】 開館10周年記念 オペラ「蝶々夫人」 出演:上江隼人(シャーベース) 会場:東海市芸術劇場 大ホール		3/22(日) 新宿文化センター合唱団演奏会 マーラー交響曲第2番『復活』 出演:佐藤康子 会場:新宿文化センター 大ホール		6/20(土) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 Dramatic Series 歌劇「トスカ」 出演:佐藤康子(トスカ) 上江隼人(スカルピア) 会場:横浜みなとみらいホール
FEB 2	2/14(土) 広島交響楽団 第453回プレミアム定期演奏会 楽劇《ワルキューレ》第1幕 (演奏会形式) 出演:村上敏明(ジークムント) 会場:広島文化学園 HBGホール	APR 4	4/2(木)・4(土)・6(月)・10(金)・12(日) 新国立劇場「椿姫」 出演:久保田真澄(医師グランヴィル) 会場:新国立劇場 オペラパレス		
	2/18(水)・21(土)・23(月・祝)・26(木)・3/1(日) 新国立劇場「リゴレット」 出演:綱永悠里(小姓) 会場:新国立劇場 オペラパレス		4/11(土) 東京春祭〈よく解る〉シリーズ vol.2 『マノン・レスコー』 出演:小林厚子(マノン・レスコー) 会場:東京文化会館 小ホール		
	2/21(土) 群馬交響楽団第615回定期演奏会 楽劇《ワルキューレ》第1幕 (演奏会形式) 出演:村上敏明(ジークムント) 会場:高崎芸術劇場 大劇場	MAY 5	5/20(水) ランチタイム・クラシック・コンサート 出演:小野寺 光、林 直樹 会場:宝くじドリーム館		
	2/22(日) 群馬交響楽団上田定期演奏会-2026冬 楽劇《ワルキューレ》第1幕 (演奏会形式) 出演:村上敏明(ジークムント) 会場:サントミューゼ 大ホール		5/24(日)・26(火)・28(木)・30(土) 新国立劇場「ウェルテル」 出演:須藤慎吾(アルベール) 伊藤貴之(大法官) 会場:新国立劇場 オペラパレス		

※今後、中止・延期になる可能性がありますので予めご了承ください。

日本オペラ振興会

公式webページ&SNSで情報更新中!

藤原歌劇団と日本オペラ協会のオペラ公演はもちろん、主催コンサートや協力公演の情報も公開！

オンラインにて24時間チケット購入が可能！

JOF Blog舞台裏レポートで、舞台のウラ側や稽古風景、育成部の授業風景などをご紹介！

お得なシーズンセット券（プレミアムシート）も簡単にご入会できます！

オペラ鑑賞の「いろは」や知らなかったオペラのホント!?を「コラム」で大公開！

最旬のアーティストをもっと知つてもっと楽しむコーナー「CiaOpera!」ではオフステージのオペラ歌手をご紹介！

日本オペラ振興会



HPへのリンクはこちら▶



公式SNSでも随時情報更新中！
ぜひご覧ください！



最新の公演情報・チケット案内をいち早くお届け！



日本オペラ振興会
LINE
公式アカウント

友だち募集中！
@194apfup



公益財団法人日本オペラ振興会では
ご寄付・賛助会員によるご支援をお願いしています

日本オペラ振興会では、オペラ芸術の普及と発展を目指し、
皆さまからのご寄付および賛助会員としてのご支援を広くお願いしております。

寄付金

ご自由な金額から、隨時お申込みいただけます。

賛助会員

年会費：法人30万円から 個人10万円から

税法上の
優遇措置

当振興会は公益財団法人につき、当振興会への寄付金、賛助会費に対しては、法人、個人それぞれに税法上の優遇措置が適用されます。

お問い合わせ・資料のご請求

日本オペラ振興会総務 TEL 044-819-5505 FAX 044-819-5205 E-mail support@jof.or.jp